

刊夕日一十三月十

常 新 日 報

定価一紙五銭 一ヶ月五拾銭 三ヶ月一圓二角 半年二圓二角 一年四圓二角
 発行所 常新日報社 東京市本町三丁目
 電話 六三〇
 印刷所 常新日報印刷株式会社

方言の魅力と 妙味への随想

相馬 御風

方言が郷土生活に於ける最大の一要素をなして居ることは今更らふまでもないことであるが、困るのは発音上の訛りである。方言から発音の訛りを取り除いても、方言そのものの特色に變化を來さないやうな場合も少なくない。しかも方言はどちらかといへば改めるに易いが、発音の訛りの方は殆ど先天的といつてもいゝほどに矯正することが困難である。東北生れの人で所謂ズーズー辯のぬけ切つた人に私はまだ逢つたことがないが、よしあれほどでないまでも発音の地方的な訛り方によつて煩はされて居る人は随分多いやうである。これは誰よりも初等教育に従事する人々の最も負はなければならぬ責任であるが、多くの場合初等教育に従事する人達はその地方々々に於て職に就いてゐるのであるから、却てその責任を果すことが困難であるやうな状態にあるわけである。まことに困つたことだと思ふ。

近は越後地方でも比較的發音の訛りの少ないところであるが、それでも標準語に比べると随分多くのなまつてゐる。その最著しいのはヒとシの間違である。東京の人はヒをシと誤つて發音する場合が多いが、この邊のはその反對にシをヒと誤つて發音する場合が多い。例へば數の「七」である。これを「シチ」と正しく發音し

然るに——ヒカクニ
 指揮官——ヒキクワン
 敷地——ヒキチ
 敷く——ヒク
 尻尾——ヒツボ
 仕立屋——ヒタヤ
 部——ヒタミ

越後全體から見ると、最ひどいなまりは「イ」と「エ」の間違であるが、妙に私達のところにはそれが少い。



【朝】味噌汁—白味噌支立
 しひたけ はんべん
 小付 かぶあちやら
 【晝】蛤ねぎみそ煮
 【晚】月見やき 豆腐 うづら 玉子落し 細いんげん 青煮添へ 栗ふくませ

得る人は稀で殆どすべての人が「ヒチ」である。それで「四」を「ヒ」と發音する者はない。又「新聞」を「ヒンブン」と讀む者など一人もない。「白」を「ヒロイ」ともいはない。死骸をヒガイともいはない。最多く誤るのは次の如き場合に於てである。

寶屋——ヒチャ
 叱る——ヒカル
 教室——ケウヒツ
 四角——ヒカク

後の月あれきり君に會はぬかな
 コスモスに毎日通る針子かな
 冬を待つばかりなる小村かな
 稻を刈る乙女にくもる山の空
 美はしの君よ秋野に虫聞かん

福祿ストロブ福引

景品付大賣出し

景品總額五萬圓

期間昭和十年九月廿五日ヨリ十二月十二日マデ
 賣出規定
 福引券 ストロブ御買上ノ方ニ左ノ割合ニテ
 進呈致シマス。

- フクロク 一號 大衆(中型)寶(大小)各一本ニ付一枚
- フクロク 二號 大衆(大型) 各一本ニ付二枚
- フクロク 三號 各一本ニ付三枚
- フクロク 四號 各一本ニ付四枚

抽籤發表 昭和十一年二月十一日東京朝日新聞
 發表致シマス。

景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄
 福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス
 福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ方ハ左ノ景品ヲ差上グ

- 一等 百圓
 - 二等 參拾圓
 - 三等 拾圓
 - 四等 五圓
 - 五等 圓
- 景品 福祿ストロブ販賣代理店 空籤ナシ
 平町五丁目

久 釜屋商店
 阿部石炭商店

石城郡銀行組合

- 株式會社 磐東銀行
- 株式會社 常陽銀行平支店
- 株式會社 常陽銀行湯本支店
- 株式會社 常陽銀行植田支店
- 株式會社 常陽銀行勿來支店
- 株式會社 七十七銀行平支店
- 株式會社 福島貯蓄銀行平支店
- 株式會社 福島縣農工銀行平支店

産科 婦人科 長 木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九
 病室完備 入院隨意
木村病院
 電話一六四番

謹啓父今朝吉儀不慮の災禍により去る十月二十七日午後六時旅行先に於て死去致候に付來る十一月一日午後一時自宅に於て告別式相營み可申候埋葬の儀は郷里山形縣新庄町にて神葬式により執行可致候間此段御通知申上候
 昭和十年十月二十九日
 福島縣石城郡内郷村大字白水

- 男 杉山朝光
- 親戚 笹權十郎
- 總代 笹清兵衛
- 友人 伊藤軍二
- 總代

平町田町通電話五五六番
玉屋洋品店

政府米の

拂下と貸出を

町村長猛運動

本郡町村長支會は昨廿日午前十時より平町會議事堂に開催する十四日日本縣各郡支會長會に於て決議陳情した政府米拂下又は貸付外十三項目に基いて各町村の實況に鑑み夫々農家の救済方法を講ずることを附議した外左記諸案を附議した

魚市場を

町營で埋立

小名濱町は本廿一日午後一時から町會を招集し町營魚市場埋立地の件を附議した

滿洲警士採用

國警士採用試験の本郡受験者中左記二名が採用された
磐崎杉山弘道 玉川駒木根志津夫

災害免租地

郡内に九千町歩

昨廿日の町村長石城支會に提出された昭和十年度郡内災害地免租見込額(作付反別高)は筆數一万九千七百十九筆で地積千二百八町廿七步、作付反別九千三百三十二町八反六畝の巨額になつて居り殊に三阪澤渡の四千三百三十筆、地積二百九十三町五反三十三步、作付反別三百三十九町二段歩は郡内町村に於ける被害の最激甚地なるを示してゐる

農産加工出席

農事試験分場の矢ヶ崎技手は來月三日より八日迄農林省に開催される全國農事試験場園藝技術員の農産加工講習會に本縣を代表出席する

佐賢對抗庭球

佐賢學舎の各科對抗庭球大會は來月二日同校コートで舉行されるが優勝者にはタル授與の略

女青講習出席

縣主催女子青年團指導者講習會

は來月九日より十二日まで大日本聯合女子青年團參事野田哲平氏を講師として福島市外長樂寺で開催されるが本郡より左記諸幹事が出席すると

平志賀ナカ 内郷竹内キチ 植田山崎トヨ

平商雄圖空しく

磐中の復讐破竹

神宮競技中等校庭球戦

神宮競技第二日の本縣中等庭球代表磐中、平商選手の戦績左の如く期待された平商岩佐一本田組は雄圖空しく第四回戦に敗退したが磐中大谷宮川組の當り物凄く破竹の勢で今廿一日の準決勝に出場した

△第二回戦

神宮 篠原 30 2
平商 小林 46 3
岩佐 47 4
一本田 25 2
宮川 25 2
大谷 25 2

△第三回戦

神宮 岩佐 40 5
平商 本田 44 3
岩佐 43 4
一本田 10 5
宮川 24 3
大谷 24 3

△第四回戦

神宮 岩佐 44 4
平商 本田 44 4
岩佐 40 4
一本田 11 2
宮川 22 4
大谷 24 4

藥業創立總會

石城郡藥業協會の創立總會及び縣藥業協會支部の臨時總會

は明日一日縣衛生課員臨席の下に平署會議室に開かれる

神谷農事傳習 神谷農事試験分場は十一月十二日午前九時から同場内に特別傳習會を開き矢ヶ崎技手が蔬菜速成と軟化栽培法に就いて講演する

四倉橋梁補助

四倉町では過般の豪雨で流失した同町海岸附近境川に掛かる中橋長さ六米、幅五米五〇の掛替工事を町事業として二千二百二十四圓四十一錢を以て施行することになりうち六割の千二百六十六圓を災害復舊工事町村補助を受けるべく平土木監督所に補助申請し來つた

鹿島村會

鹿島村會

は來る十一月二日午前九時

より開會、左記の件が附議される
區長補缺推薦の件 村稅督促及び督促手料條例設定條例 十年度歳入出追

湯本迂回線實現に

賛成調印を取纏む

來郡の内田鏡相に 嘆願書提出の見込

既報平小鐵道の湯本迂回線實現に躍起となつて運動中の湯本町は目下期成同盟會及び消防組幹部が全町民より調印を取纏めて居り一方入山炭礦人事課も附近の大炭礦より調印を集め來る

二日來郡する内田鏡相に嘆願書を提出して飽迄湯本迂回線實現の猛運動に當ると

シネマ週報

△平 館 新興時代劇阿部九州男主演「伊達男血笑記」日活時代劇黒川彌太

社告

明一日は熱田神宮遷座祭に付休刊仕候
常磐毎日新聞社

愛讀者各位

△平 館 新興時代劇阿部九州男主演「伊達男血笑記」日活時代劇黒川彌太

吉田眼科病院

平町南町 電話三〇七

醫學士 吉田久雄

加更正豫算の件 村稅、特別稅、戶數割賦課に對する異議申立決定の件 小學校基本金運用の件 寄附採納の件

平町人事

△平 館 新興時代劇阿部九州男主演「伊達男血笑記」日活時代劇黒川彌太

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎 回文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

看護婦急派 求めに應じます

平看護婦會

平町南町 電話三〇七

不合格壯丁から 献金を徴収

本郡町村長決議

軍八遺家族の救恤費に

帝國軍人後援會が同會四十周年記念として基金を募集することは既報の如くであるが本郡に於ても昨廿日の町村長支會に於て附議した結果この運動に参加する事になつたがこれは國防の第一線に活動する軍人に對し國民皆兵の建前に基き其の生計困難なる遺家族等の保護慰恤を計るもので昭和十一年度より毎年の壯丁中現役に服さざる者より金卅錢の寄附を受けて基本金とし

天候安定に 測候所の折紙

測候所の折紙

是れからは秋晴れ續き
但し氣温は下る一方

列車轉覆、山津浪、大出水と生々しい慘禍の跡を郡下に印した廿七日の豪雨以後は連日稍々強い北西の風が吹き續き申分ない秋空と化したのが小名濱測候所の發表に依ると「當分七、八米の稍強い北西の風は續くが是れで本年の颱風シーズンもパスしました、今後の天候は益々安定に向ひますが氣温はズツと下り所によつて霜も降ります、何れにもせよ本當の秋晴れはこれから

市制調査

委員會議上

平町の市制調査委員は來月二日開會する筈だつたが同日は内田鐵道大臣が本郡海岸方面視察に來郡のため一日の午後一時に繰上げ開會すべく變更された

けふ唱歌會 壯觀を呈す

郡下小學校兒童唱歌大會は今廿一日午前十時から平第三小學校講堂に開催されたが母校の名聲を擔ふ可憐な

溺るゝ者の 頼るは高壓線

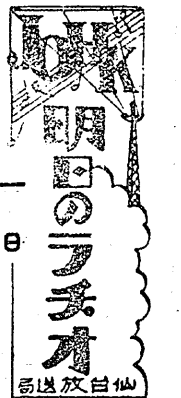
危険な間一髪を救助

郡内各方に未會有の悲惨な事を惹起した廿七日の豪雨中に左の如き人命救助の美譽があり此程同村駐在巡查より表彰の内申があつた内郷村白水三坑々夫武藤進(三)は同日午後六時頃泥酔して歸宅の途中同村長機地内で堤防欠壞した白水川の濁流に落ち込み

百圓寄こせ 人絹を強請る

妻文句の激文で 大衆黨員檢舉さる

内郷村社會大衆黨執行委員鈴木浦治(四)同原田豊次



今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
童話劇「なんにも仙人」東京コドモグループ
後六、二五 御陵巡り「京都附近を中心とする歴史御陵一魚澄惣五郎
後七、三〇 講演「科學界のトビツク」眞島正市
青年和樂の夕
後八、〇〇 謠曲「山姥」梅

明日の部
前七、〇一 現代語講座
若武久他
後八、二〇 常磐津「角兵衛」常磐津千東勢太夫他
後八、四〇 長唄「石橋」吉住小太郎他
後九、〇〇 義太夫「一谷嫩軍記」豊竹呂太夫
後九、三〇 時報「ニュー」番組豫告 氣象通報

「國語の海外普及」保斗孝
前七、三〇 朝の修養「教育に關する勅語謹解」川村理助
前九、三〇 偉人物語「十一月生れの偉人」中田千秋
前一〇、〇〇 講演「明治天皇の熱田神宮御崇敬」有馬良橋
前一一、〇〇 講演「第一一回オリズムピク大會についで」嘉納治五郎 三島彌彦 金栗四三
後〇、五〇 漫談「十一月の曆」西村樂天
後一、二〇 琵琶「臺灣入」安田希山

「この兩名は廿八日錦村昭和人絹會社を訪れて同會社の煙毒で勿來及び植田兩町一帯の農作物約二百數十町歩に涉つて被害を受け農民の損害激甚であるとして「打倒昭和和絹」の書入り激文の印刷物千枚を所持して我々に百圓提供すれば此儘濟

片倉工場映畫 縣工場協會は無駄なし週間として來月二日午後六時から平町片倉製糸工場に於て映畫會を開催する

警崎防火運動 警崎村消防組は明日午後二時より役場内に幹部會を開き防火運動實施方を協議する

鹿島出征行賞 鹿島村は來月三日午前十時から役場内に於て日支事變に出征した左記五氏の行賞傳達式を行ふと

酷使等の事實は 全然ないと語る

調査から歸つた神名倉氏

既報平職業紹介所神名倉氏は錦村昭和人絹會社に對する斡旋男女工の全面的狀況調査に出張して歸所したが傳へられる酷使等の事實はないと左記の如く語つてゐる
現在まで當方よりの斡旋數は三百名で(既報四百名は誤り)中百餘名の就業を見居り残る二百名は會社の呼出しにも應ぜず出頭せざるもので酷使等の点なく賃

銀は全國紡績諸會社と同様の勞銀で殊に男工の如きは十六才を基準にして一才毎に三錢の勞銀高を支給されて居り最低五十錢としても廿五才とすれば七十七錢になる譯です。亦人體惡害云々に就いては大した事は無く僅かに藥品工場の電解部就業者が硫酸で手が荒れる程度でそれも一ヶ月もすれば支障なくなる様です

佐々木商店 角忠 平公園前・電話三三三番



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島雄史

第六十四回

新島原跡 (四)

多くの客や、仲居や、太夫や、妓郎が上りおりをした階段から、夜目にはそれとわからぬが何んとなしく淫穢な海音がにじんでゐるもの、やうに感ぜられた二階まで後退りして、やつと気がついたのだが二階の格子窓に近くの明るい街の灯がおぼろげに映えてゐた。

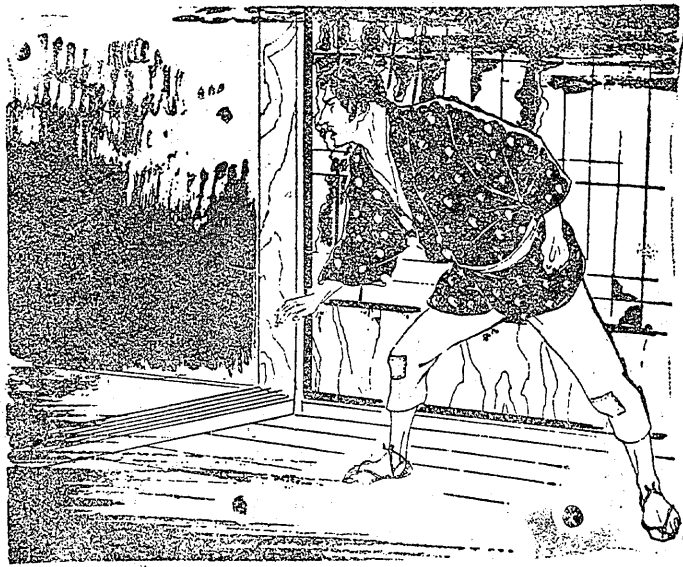
そこへ、うかつに身をよせたら、たちまち邏卒たちにもつかつてしまふ。大志賀は街の明りのとどかぬ方を足音をぬすみながら歩いた。

邏卒たちの靴音はそれなり追ふてくる様子もない。妓樓の店先を覗いただけで深くは探索せずに引揚げたものらしい。

が、しかし、それだけで安心がならなかつた大志賀がうるさい邏卒たちから巧にのがれて、ほつと一息入れたときどこからか、さうだ、地の底からでも湧いてくるやうにこの人のすまぬ妓樓の屋根の下に、なんとなくなまめかしい密音がきこえるではないか。

「おや、とおもつた、それからおのれの耳を疑つた。妓樓の廢墟に戀愛取引を度重ねた多情多感な男女の霊が残つてゐるのではあるまいか……」

「おや、とおもつた、それは男と男がやみくものなかに向き合つて何やら謀計をめぐらしてゐるかのやうにもきかれた。——なんだ、野郎同志か吐きすてるやうにこゝろに呟いた。その男同志がやはり卒であつても、もうおそれることはしなかつた。五人、十人の雑兵どもなら蹴殺し張倒してしまふことはわけがなかつた。そこで大志賀は密語の洩れる座敷の方へ近づいていつた。」



二階の窓から星屑を仰いでゐる、おとわの恨みのこもつた、纏綿たるささやきが靈感されるのではあるまいか……

しかし、さらに耳を澄ましてきいてみると、その密語は多情多感な男女のそれでも、らしやめんおとわの魂魄でもなくどうやらこゝろ

た。おのれと同様な時勢の敗者だと感じた。と、そのとき、大志賀の足音をききつけたのだらう怪しいふたりの密話はヒタヒタととまつた。

「……」

「怪しいふたりは身動きもしない。」

「誰だ!」

「おれだ」

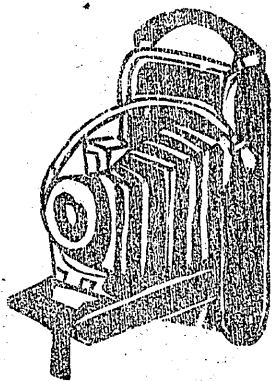
「おれははわからぬ、巡察やみくもの男のど太な應答だつた。」

「おれではわからぬ、巡察大志賀もやみをすかしみるやうにしていつた。」

秋深し!!!

旅行に!!ピクニックに!!散策に!!

今こそカメラ 絶好のシーズン
素人に良く撮れるカメラとして
絶大の好評を博して居る



いづみやの
MSカメラ
コタツク型
一圓より……
十五圓迄各種

秋は殊に鮮明に良く寫りま

平驛前 いづみや玩具店

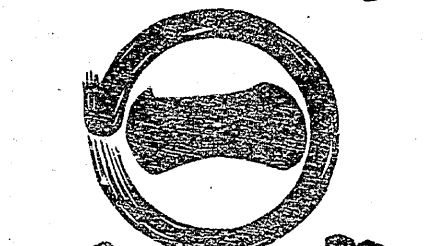
カメラ部

産名城磐

味美鰹

当店特製

鰹節賣出し



魚問屋

店商榮盛賀志 (三一二電)目丁四平

お醤油は……ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鰹節 食料品

金山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部二〇製造工場七)
明治生命磐城代理店 山崎 與三郎

外科

門 線 光 X
科 線

上田外科病院

平町 南町
電話 一二九番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番